

広島の「被爆体験伝える」

福島市は1日、同市のキョウワグループ・テルサホール(福島テルサ)で戦没者追悼式を行った。今回は戦後80年の節目となることから、特別企画として広島市を訪問した中学生平和大使の成果報告会が開かれた。派遣事業は戦後80年に合わせて福島市が実施。平和の大切さや戦争の悲惨さを学ぶため、市内の中学2年生21人が8月5～7日の2泊3日の日程で広島を訪問した。

平和大使は3班に分かれて成果を発表。現地で平和記念式典に参加したことや被爆者の講話、原爆ドームや平和記念資料館の見学などを振り返った。戦争を繰り返してはいけなく、改めて感じた「被爆体験者の平均年齢が上がっている。話を聞いた自分たちが学んだことを伝えたいという気持ち」などと決意を語った。

式典では、市遺族連合会の安斎満会長が「戦後生まれの大多数を占める中で、戦争の記憶の風化は避けられないのが現状だが、教訓を語り継ぎ、平和に向けて一層努力する」と誓った。木幡浩市長が式辞を述べ、白川敏明市議会議長が追悼の辞を述べた。

太平洋戦争後の市内戦没者は4542人。安斎会長らのほか、参列者が献花して犠牲者の冥福を祈った。

福島 中学生平和大使が報告



派遣事業の成果を発表する中学生平和大使

▲10月7日 福島民友新聞掲載

福島市のホームページで参加報告書を読むことができるので、ぜひ、お家の人と読んでみてはいかがでしょうか？



記事を読んだ感想や意見を書いてみよう。

(When) いつ？

(Where) どこで？

(Who) 誰が？

(What) 何を？

(How) 報告会はどうに？

(Why) なぜ？

Blank lines for writing感想や意見 (Thoughts and Opinions).